

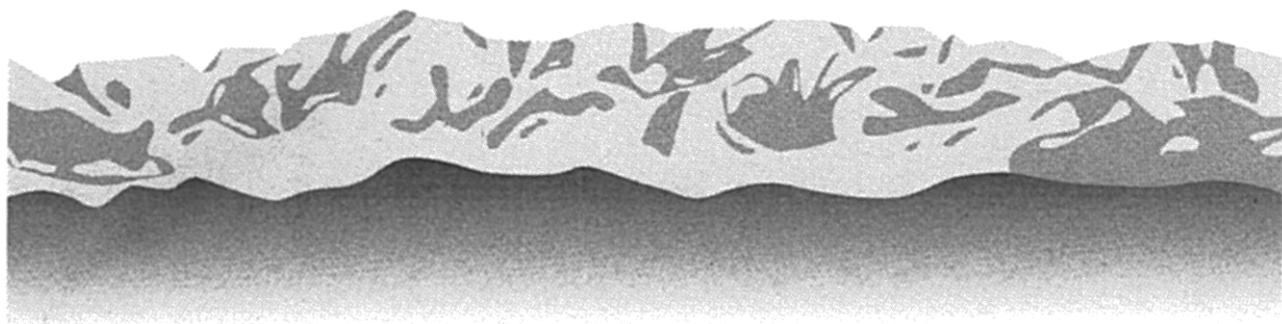
令和6年度

富山市公民館研修会 (前期)

と き 令和6年7月26日(金)

午後1時30分

ところ 大久保ふれあいホール



富山市公民館連絡協議会
富山市教育委員会

令和6年度富山市公民館研修会前期開催要項

- 1 趣 旨 豊かな活力あるまちづくりを目指す自治公民館の効果的な活動や地域との連携など、地域における社会教育活動の指導者として必要な資質の向上を図る。
- 2 主 催 富山市公民館連絡協議会
富山市教育委員会
- 3 日 時 令和6年7月26日（金）午後1時30分より
- 4 会 場 大久保ふれあいホール
富山市下大久保1776-1 ☎467-0001
- 5 参加者 市立公民館・自治公民館関係者
- 6 研修課題 公民館が地域づくりに果たす役割について

7 日 程

13:00	受付
13:30	開会の挨拶・市挨拶
13:40	特別講演 (14:40～14:50 休憩)
14:50	事例発表（話題提供）
	協議（意見交換）
15:50	閉会の挨拶
16:00	終了

8 研修会

<司会>市立月岡公民館 館長 中松信博 氏(第7ブロック)

(1) 特別講演

演 題 南極観測の話

「南極観測の必要性和観測隊員の暮らし」

講 師 富山地方気象台

リスクコミュニケーション推進官 木津 暢彦 氏

(第59次南極地域観測隊越冬隊長)

(2) 事例発表（話題提供）

① 発表者 安野屋町公民館 館長 鈴木 友喜 氏（第1ブロック）

秋吉公民館 町内会副会長 安田 隆（第2ブロック）

② 協 議 研修内容に基づき意見交換

(1) 特別公演

2024.7.26 富山市民館研修会
改: 富山市民大学開校式@富山市民プラザ

南極観測の話

～南極観測の必要性和
観測隊員の暮らし～

富山地方気象台
リスクコミュニケーション推進官

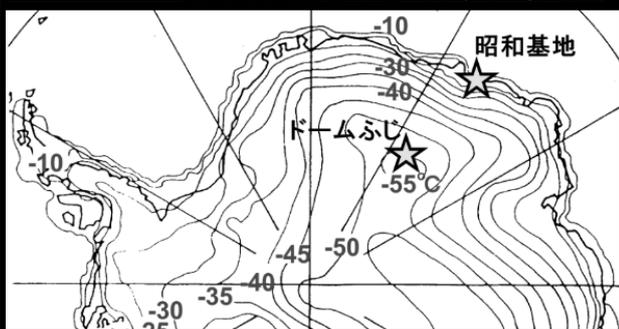
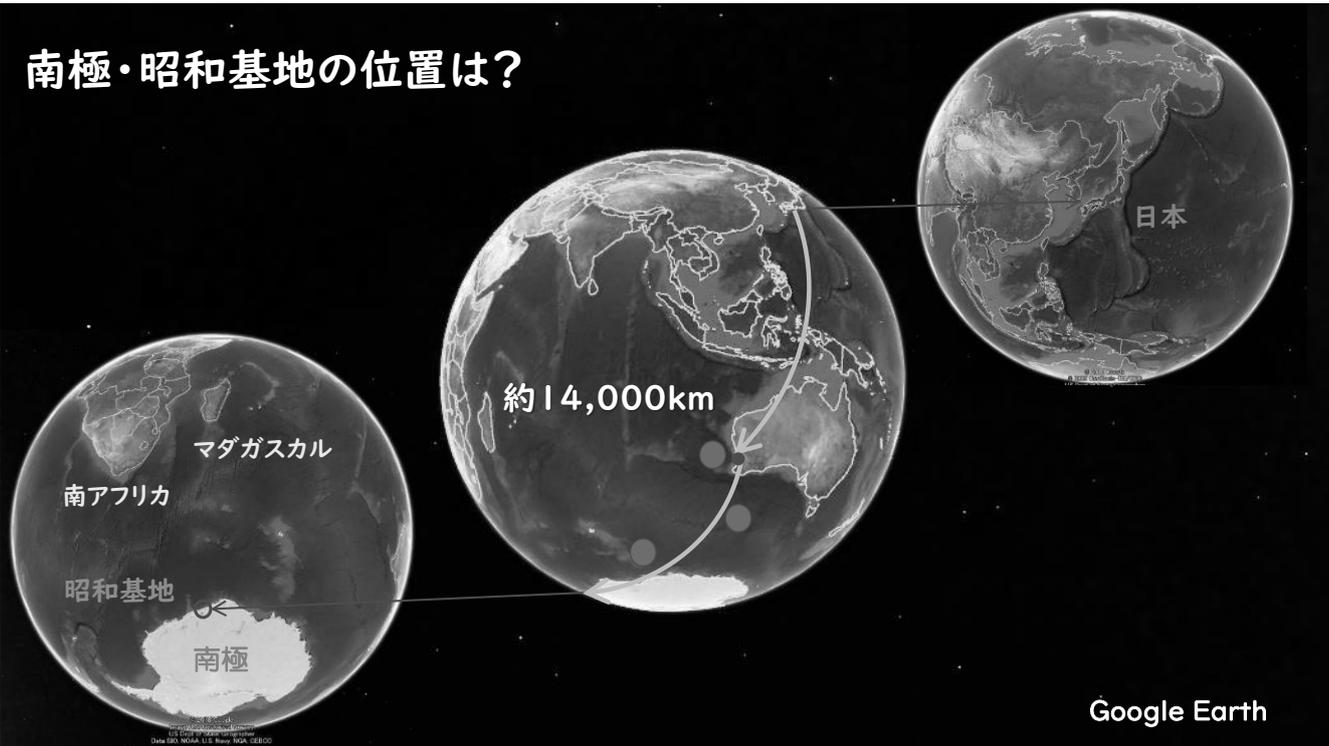
木津 暢彦

2018.08.06@S16

本日のお話

- 昭和基地の場所と気象 基地は寒いか、暑いか？
- なぜこんなところに昭和基地？
- こんな基地だから、いろいろな成果
- 越冬隊員が経験する南極の自然と暮らし
 - ・南極に潜む危険な場所
 - ・上空はどうなっている？
 - ・ペンギン調査旅行も活発に
 - ・内陸観測、それでも日本は世界のトップ
- 南極観測隊員に必要な要件

南極・昭和基地の位置は？



(Syowa Station)

(年平均)

年平均気温 -10.4°C
年平均風速 6.4m/s

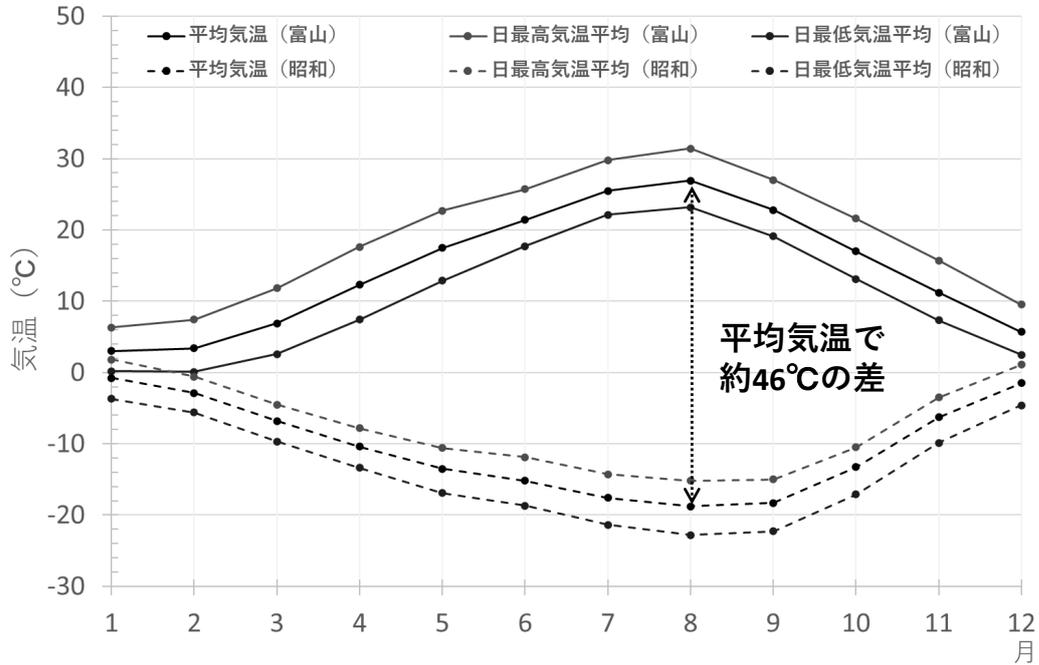
(極値)

最高気温 10.0°C
最低気温 -45.3°C
最大風速 47.2m/s
最大瞬間風速 61.2m/s

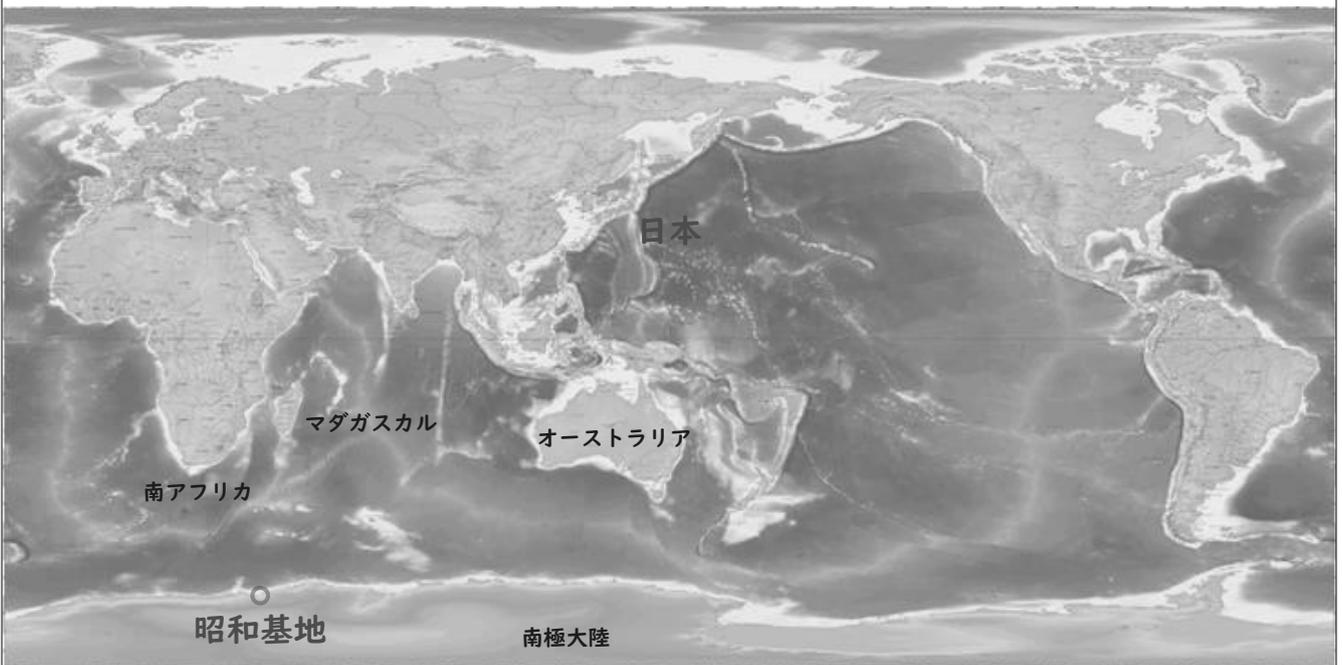
ちなみに・・・

最低気温は
ボストーク基地 -89.2°C
ドームふじ基地 -79.7°C

富山市と昭和基地との気温比較



なぜこんなところに昭和基地？



こんな基地だからこそ、色々な成果

- 1960(04) 福島紳遭難
(外出禁止/注意令により、以降は遭難者“0“)
- 1968(09) 昭和基地から南極点到達)
- 1969(10) 「やまと山脈」発見、9個の隕石発見
(現在約17000個。2010年まで世界最多の隕石保有国、現在はアメリカ(18300個))
- 1970(11) ロケットでオーロラ観測開始
- 1975(16) 皇帝ペンギンルッカリー発見
- 1982(23) オゾンホール発見
- 1991(32) ポーラーパトロールバルーン成功
- 1995(36) コケ坊主(湖沼コケ)発見
- 2006(47) ドームふじ基地全層掘削成功
(3028.5m)
- 2015(56) 大型大気(パンジー)レーダー観測開始

- ・国際的プレゼンス
(戦後社会の日本にとっての国威発揚)
- ・プレハブ住宅開発
- ・インスタント食品の開発
- ・極地用小型雪上車の開発
- ・高効率(コージェネ)基地設備の開発
- ・放射性鉱物、ルビー、サファイア等発見
- ・大型雪上車の開発
(国内スキー場の雪上車に還元)
- ・低温型衣類、テント等の装備品の開発
(産業用防寒装備として普及)
- ・低温仕様の燃料開発(灯油・軽油等)
- ・極地でロケット運用技術と周辺技術の開発
- ・無人気象観測装置、自動気象観測装置の開発
- ・温暖化ガス(炭酸ガス)の発見
- ・大型建築物のプレハブ化と工期短縮工法完成
(国内外に技術還元)
- ・大型砕氷船建造、運用技術の開発
(国内に技術還元)

越冬隊員が経験する南極の自然と暮らし ～ 南極に潜む危険な場所 ～

- タイドクラック・クラック
- シャーベットアイス
- プレッシャーリッジ
- パドル
- アザラシ穴
- そのほか(冰山、裸氷など)

越冬隊員が経験する南極の自然と暮らし ～ 上空はどうなっている？～



ペンギン調査旅行も活発に



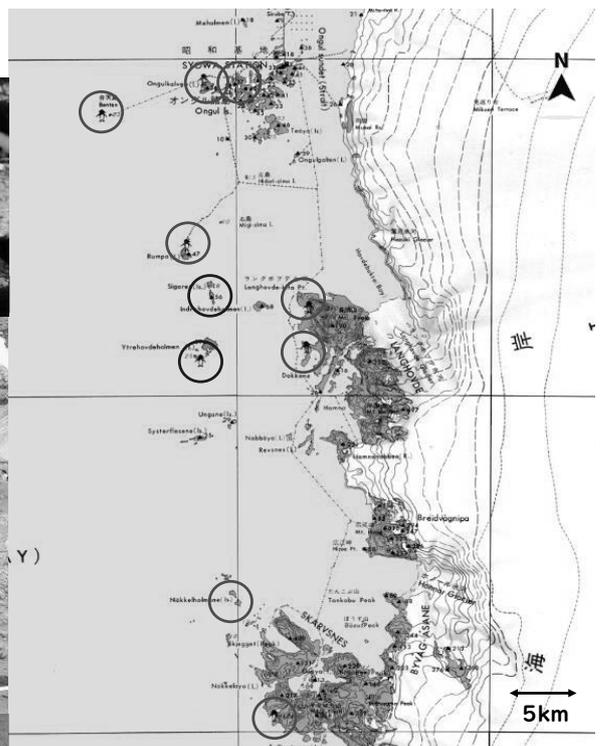
2018.11.@ネツケルホルマネ



2019.1.8@豆島



ルンパのルッカリー



越冬隊員が経験する南極の自然と暮らし
～ 内陸観測、それでも日本は世界のトップ～

まずは大陸（氷床）上に潜む 危険な場所

○南極観測隊員に必要な要件

- ・健康であること
- ・その道のプロであること
- ・自分のことは自分でできること
- ・失敗してもくよくよしない、前向きであること
- ・みんなと仲良く、お互いに助け合ってやっていけること

⇒無事に帰国するために

(2) 事例発表

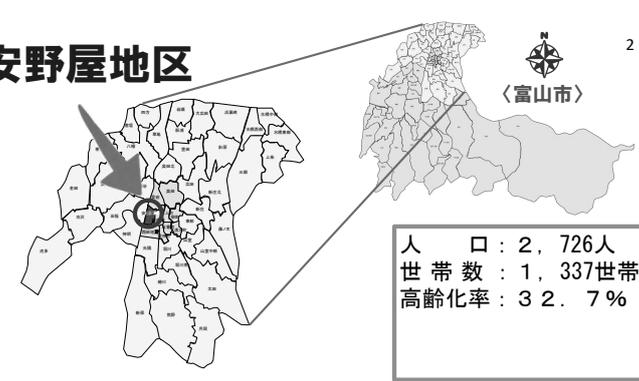
1

公民館と自治会が相互に 協力し、人、町づくりに努める

安野屋町公民館
館長 鈴木友喜

2

安野屋地区



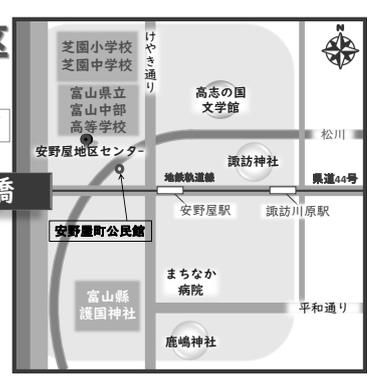
〈富山市〉

人口：2,726人
世帯数：1,337世帯
高齢化率：32.7%

3

安野屋地区

地区内の施設など



富山大橋

4

富山大橋 全景



隣接の五福地区側より観る晴れた日の立山連峰は絶景です。

5



市立 芝園中学校
市立 芝園小学校
(小、中一併校舎です。)



県立 富山中部高等学校

6



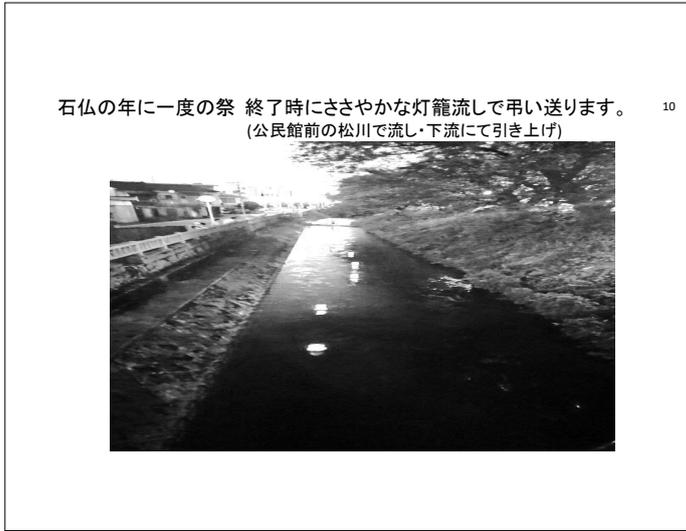
松川の桜並木



8

世帯数と人口

町内名	世帯数	人口	65歳以上
(1) 安野屋町1丁目	176世帯	317人	95人
(2) 安野屋町2丁目	73世帯	132人	45人
(3) 安野屋町3丁目	89世帯	146人	54人
合計	341世帯	595人	194人



健康教室

安野屋町1丁目シニア会 安野屋町2、3丁目長寿会
地区長寿会連合会
(生活支援体制整備地域連絡会) 愛宕・安野屋地域包括支援センター

13



水飲み運動について
認知症について
地域づくりについて

安野屋地区センターにて



夏祭(流しそうめん)

14

安野屋町立平野町内会
安野屋地区センター

健康ウォーキング

ふるさとづくり推進協議会
地区体育協会

15



安野屋地区センターから環水公園まで

健康展(文化祭)

ふるさとづくり推進協議会

16



旧安野屋小・体育館

ウィークエンド・コンサート

17



旧安野屋小・体育館

その他、活動など

18



イラストフリー素材を使用

安野屋地区において6館の自治公民館があります。
全14町内中に活動主体となる長寿会組織があるのは4町内のみです。

地区ふるさとづくり協議会、地区長寿会連合会などと自治振興会、公民館など相互に協力し地域住民の活動を継続し住民各位が気楽に出席出来るよう集い会えるよう、人、町作りにつとめます。

ご清聴 ありがとうございました

花と緑の鑑賞会
チュリップ四季彩館
安野屋町2・3丁目長寿会



地域の人々の命を守る公民館活動

安全・安心な町づくり

～秋吉防災隊の設立～

富山市秋吉町内会
秋吉防災隊

秋吉町内会

令和6年3月現在



- 世帯数: 817戸
- 人口: 1,887人
- 後期高齢者数: 232人
(避難行動要支援者: 35人)

大雨による河川・用水の状況



地域防災の必要性

阪神・淡路大震災の救助・救出例

- 公助的救助 ……1.7%
- 共助的救助 } ……94.9%
- 自助

秋吉防災隊の設立経緯

- 第1回 説明会: 令和4年11月
- 第2回 説明会: " 12月
- 設立申請・受理: 令和5年3月
- 補助金交付申請: " 4月
- 第1回全体会議: " 4月
- 交付申請受理: " 5月
- 第2回全体会議: " 11月
- 第1回 総会: 令和6年3月

防災隊の構成・役割

- 本部役員…隊長・副隊長・会計・監事
- 行動班…19名(含・消防署員・分団員)
- 情報班…2名
- 給食・給水班…5名
- 民生・児童委員…3名

全員、傷害保険に加入

備品・資材購入準備

- 富山市へ設立申請 → 認定

↓
補助金申請

↓
富山市からの助成金 30万円
町内会からの " 20万円

備品の一覧

令和5年度 収支決算		秋吉防災隊	
収入の部		支出の部	
市の助成金	300,000	資機材購入費	501,320
町内会	201,320		
合 計	501,320	合 計	501,320
支出内訳			
購入資機材名	単価	数量	購入価格
ヘルメット	2,650	15	39,750
ヘッドランプ	4,480	8	35,840
消火器	4,480	5	22,400
発電機	82,800	1	82,800
コードリール	8,980	2	17,960
投光器	13,800	1	13,800
油圧ジャッキ	6,480	1	6,480
パール	5,980	3	17,940
非常用携帯トイレ	2,280	20	45,600
懐中電灯	895	5	4,490
ラジオ	3,480	1	3,480
リアカー	151,800	1	151,800
石油ストーブ	21,800	1	21,800
ポリタンク	877	2	1,754
灯油給油ポンプ	162	1	162
カセットコンロ	9,980	2	19,960
腕拳	110	30	3,300
非常食(21食分)	7,100	1	7,100
ガソリン(発電機用)			1,456
灯油(ストーブ用)			2,052
カセットボンベ	698	2	1,396
合計			501,320

主な購入品



防災隊の年間計画

- 避難行動要支援者のための支援マニュアルの作成
- 防災隊研修会の実施
- 町民避難訓練の開催

主な活動例 1-①

避難行動・要支援者の支援マニュアル

秋吉防災隊

- 洪水
 - 秋吉地区は全地区地面の傾斜が強く、洪水はこの地区内に停滞せず、北西方向に短時間で流れるため、水平避難ではなく垂直避難を指導する。
 - 隊員相互の連絡・報告・指示等は、「秋吉防災隊グループ」のLINEを使用する。
- 事前準備 (民生委員)
 - 浸水範囲の確認: 要支援者の居宅をハザードマップで確認し最大想定時の浸水が0.5m以上か否かを支援担当者リストに記入。
 - 要支援対象者(自宅の浸水が0.5m以上)との個人面談: 民生委員はハザードマップで最大想定時の浸水状況は自宅の最大1階部分が水没する可能性がある事を要支援者に確認させ、避難の必要性を理解させると共に、どこに避難するかを具体的に打ち合わせる。
例: 自宅2階、近所の知人宅など
 - 避難先が近所の知人の場合は、民生委員が直接訪問し、避難場所提供を依頼する。その後、避難先を支援担当者リストに記入。
 - 民生委員は、秋吉防災隊と共同して対応することを要支援者に説明する。
 - 要支援対象者(自宅の浸水が0.5m未満)との個人面談: 民生委員はハザードマップで最大想定時の浸水状況は自宅の床下程度が浸水になることを要支援者に確認させ、水平避難よりも自宅内での避難を勧める。

主な活動例 1-②

② 連絡・支援態勢

ア 富山市から警戒レベル「3」(高齢者等避難)以上が山室校下に発令されたとき

- 避難行動の指示連絡
隊長・副隊長→民生委員→要支援者
- 要支援者と連絡が取れないとき
隊長・副隊長→秋吉防災隊→要支援者
(連絡が取れない場合は、秋吉防災隊の担当者が自宅訪問し指導・援助を行う。)

危険度	対応
5相当	命を守る行動
4	全員避難
3	高齢者等は避難
2	避難行動の確認
事象発生	今後の避難状況注意

イ 警戒レベル解除のとき

- 上記、連絡・支援態勢と同様に要支援者に知らせ、該当者の様子確認と警戒レベルの低下・解除を伝える。その後、LINEで安否報告をする。
- 被害がある場合は、隊長・副隊長の指示に従う。

主な活動例 1—③

2 地震（概ね、震度5以上の地震が発生したとき。）

前兆：震度5以上になると、棚から物が落ちる。

家具が倒れ、これによる人的被害（火災）が予測される。

① 安否確認

隊長・副隊長→民生委員・防災隊員→要支援対象者

② 救助支援

隊長・副隊長→救助担当隊員（救助支援は、原則として必ず複数の隊員で実施する。）

担当地区で複数での対応が無理なときは、本部へその旨を連絡し、隊長指示により本部または他地域担当隊員の応援により、救助活動は複数隊員で行う。

主な活動例 2



町民からの声・課題

- 年寄りに除雪はキツイ。
だから、とてもありがたい！
- 防災隊ができて、とても心強い。
- できることから、協力したい。
- 隊員を継続的に充足していくためには・・・。

終わりに

「町民の」
「町民による」
「町民のための」
「防災隊！」

終わり

ご清聴、ありがとうございました。

MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing.